

和歌山縣報

第百十四號

大正二年九月二十四日

○縣令

○和歌山縣令第五十三號

明治四十三年一月縣令第八號左記ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年九月廿四日

和歌山縣知事 川村竹治

第二十條ヲ「卒業ノ認定ハ最終學年ノ成績ニ依ル」ニ改ム

第二十八條ヲ「學校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ生徒ヲ寄宿舎ニ收容ス」ニ改ム

○和歌山縣令第五十四號

明治四十二年二月縣令第十一號左記通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年九月廿四日

和歌山縣知事 川村竹治

第二十六條ヲ「卒業ノ認定ハ最終學年ノ成績ニ依ル」ニ改ム

第三十四條ヲ「學校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ生徒ヲ寄宿舎ニ收容ス」ニ改ム

○和歌山縣令第五十五號

明治四十二年五月縣令第二十三號左記ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年九月廿四日

和歌山縣知事 川村竹治

第二十七條ヲ卒業ノ認定ハ最終學年ノ成績ニ依ルニ改ム

○和歌山縣令第五十六號

明治四十四年^{十二}縣令第六十號滅術灸術營業取締規則施行細則中左ノ通り改正ス

大正二年九月廿四日

和歌山縣知事 川村 竹治

第五條 所轄警察官署ニ於テ營業者ニ對シ規則第二條ノ疾病ニ罹リタル疑アリト認ムルトキハ期限及醫師ヲ指定シテ健康診斷書ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 營業者ハ常ニ身体被服ヲ清潔ニシ施術中ハ清潔ナル白衣ヲ着用スヘシ但シ白衣ハ施術以外濫ニ着用スルコトヲ得ス

第十條中「及場所」ノ下ニ「竝料金額」ノ四字ヲ追加ス

第十條ノ二 營業者ニシテ出稼スル際ハ常ニ免許鑑札ヲ携帯シ警察官吏ノ求アルトキハ之ヲ提示スヘシ

第十一條 營業者ニ於テ組合ヲ設立セムトスルトキハ所轄警察官署ノ管轄區域内ノ營業者三名以上發起人トナリ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得規則ヲ設ケ其發起人ヨリ當廳ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ但シ土地ノ狀況ニ依リ同一警察官署ノ管轄區域内ニ二以上ノ組合ヲ設立スルコトヲ得

組合ヲ設立シタル區域内ニ於テ營業スル者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ

第一項ノ認可ヲ受ケタル組合ニシテ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ解散セムトスルトキハ其ノ旨當廳ニ届出ヘシ

組合規約ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 組合ノ名稱區域

二 組合事務所ノ位置

三 組合役員ノ名稱員數並選定ノ方法及職務權限等ニ關スル件

四 組合事務ニ關スル件

五 施物料額ニ關スル件

六 組合會計ニ關スル件

七 取締規則勵行並業務ノ改良進歩ニ關スル件

八 組合規約違反者處分ニ關スル件

九 組合解散ニ關スル件

十 前各號ノ外組合設立ニ關スル必要ナル事項

當廳ニ於テ組合又ハ役員ノ行爲ニシテ公安風俗又ハ衛生上ニ害アリト認ムルトキハ其ノ行爲ノ取消ヲ命シ若ハ組合規約ノ認可ヲ取消シ又ハ其ノ役員ノ改選ヲ命スルコトアルヘシ

前項ニ依リ解職セラレタル者ハ三ヶ年間役員トナルコトヲ得ス

第十三條 本則第五條ノ健康診斷書提出ノ命ニ從ハス又ハ第六條乃至第十條ノ二第十一條第二項ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

○和歌山縣令第五十七號

明治四十四年十二月十二日縣令第五十九號按摩營業取締規則施行細則中左ノ通り改正ス

大正二年九月廿四日

和歌山縣知事 川村竹治

第五條 所轄警察官署ニ於テ營業者ニ對シ規則第二條ノ疾病ニ罹リタル疑アリト認ムルトキハ期限及醫師ヲ指定シテ健康診斷書ノ提出ヲ命スルコトアルベシ

第六條 營業者ハ常ニ身体被服ヲ清潔ニシ施術中ハ清潔ナル白衣ヲ着用シ一客ニ接スル毎ニ先ツ石鹼ニテ手指ヲ洗淨スヘシ但シ白衣ハ施術以外濫ニ着用スルコトヲ得ス

第六條ノ二 營業者ニシテ出稼スル際ハ常ニ免許鑑札ヲ携帯シ警察官吏ノ求アルトキハ之ヲ提示スヘシ

第八條 營業者ニ於テ組合ヲ設立セムトスルトキハ所轄警察官署ノ管轄區域内ノ營業者三名以上發起人トナリ同業者三分ノ二以上同意ヲ得規約ヲ設ケ其發起人ヨリ當廳ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ但シ土地ノ狀況ニ依リ同一警察官署ノ管轄區域内ニ二以上ノ組合ヲ設立スルコトヲ得

組合ヲ設立シタル區域内ニ於テ營業スル者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ

第一項ノ認可ヲ受ケタル組合ニシテ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ解散セムトスルトキハ其ノ旨當廳ニ届出ヘシ

組合規約ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 組合名稱區域
- 二 組合事務所ノ位置
- 三 組合役員ノ名稱員數並選定ノ方法及職務權限等ニ關スル件
- 四 組合事務ニ關スル件

- 五 施術料額ニ關スル件
 - 六 組合會計ニ關スル件
 - 七 取締規則勵行並業務ノ改良進歩ニ關スル件
 - 八 組合規約違反者處分ニ關スル件
 - 九 組合解散ニ關スル件
 - 十 前各號ノ外組合設立ニ關スル必要ナル事項
- 當廳ニ於テ組合又ハ役員ノ行爲ニシテ公安風俗又ハ衛生上ニ害アリト認ムルトキハ其行爲ノ取消ヲ命シ若ハ組合規約ノ認可ヲ取消シ又ハ其ノ役員ノ改選ヲ命スルコトアルベシ
- 前項ニ依リ解職セラレタル者ハ三ヶ年間役員トナルコトヲ得ス
- 第十條 本則第五條ノ診斷書提出ノ命ニ從ハス又ハ第六條第六條ノ二第七條第八條第二項ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

○ 通牒照會

○ 通牒

○ 地第三〇二六號ノ一

大正二年九月廿四日

内務部長

郡市長 殿

町村役場 御中

宮城、福島兩縣下ノ水害罹災民救済ニ要スル物品輸送方ニ關シ日本郵船株式會社ニ於テハ左記條

件ヲ以テ取扱フコトト相成候旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

記

一、九月十二日ヨリ十二月末日迄ノ期間

一、本邦各寄港地ヨリ萩濱間

一、水害災罹民救済上必要ナル米麥其他諸種ノ食料品(定額ノ五割引)各地ヨリ寄贈スル義捐物

品(無賃)

但シ何レモ各行政廳ノ證明ヲ要スルコト

○地第三〇三六號ノ一

大正二年九月廿四日

郡市長殿

町村役場御中

内務部長

福島、宮城兩縣下水害罹災民救済ノ爲米麥其ノ他ノ食料品等無賃輸送方ニ關シ日本船主同盟會東部ニテハ各加盟船主及回漕店へ夫々移牒致置候旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

○辭令

○大正二年九月二十二日

六給俸ヲ給ス

休職ヲ命ス

縣立新宮中學校教諭 松岡庄三

○彙報

○陸叙 正七位勳六等吉田稷ハ從六位ニ從七位豊永狷介同中島久楠ハ正七位ニ本月二十日陸叙セラレタリ

○ 觀 象

大正二年自九月十九日至九月廿一日氣象 (和歌山地方測候所觀測)

| 種 目 | 九 月 十 九 日 | | 九 月 二 十 日 | | 九 月 廿 一 日 | |
|------|----------------|---------|-----------|----------|---------------|--------------------|
| | 前 年 | 本 年 | 前 年 | 本 年 | 前 年 | 本 年 |
| 平均氣壓 | 七六三耗七 | 七〇六耗六 | 七六一耗八 | 七五五耗四 | 七五八耗九 | 七五六耗〇 |
| 平均氣溫 | 一九度二 | 一二度一 | 一九度八 | 二四度七 | 二一度七 | 二一度三 |
| 最高氣溫 | 二一度五 | 二八度八 | 二四度七 | 三〇度〇 | 二六度七 | 二三度八 |
| 最低氣溫 | 一六度五 | 一六度二 | 一四度〇 | 一九度九 | 一八度三 | 一九度一 |
| 最多風向 | 北東 | 南西 | 北西 | 南々西 | 東北東 | 北 |
| 平均風力 | 二米五 | 四米〇 | 〇米三 | 四米八 | 〇米三 | 二米二 |
| 天 氣 | 曇微雨 | 晴 | 曇 | 曇後雨 | 曇後雨 | 曇 |
| 降水量 | 〇耗二 | | | 六耗四 | 三耗三 | 二耗五 |
| 記事雜象 | 曉開並二午前十時 霽雨 | 晝間日曇ヲ映ス | 晝間日曇ヲ映ス | 午後五時ヨリ降雨 | 午後二時半ヨリ降 雨 | 前日來ノ降雨ハ午 前二時半歇ム |

大正二年九月二十三日發行
大正二年九月二十四日發行
大正二年九月二十五日發行
大正二年九月二十六日發行
大正二年九月二十七日發行
大正二年九月二十八日發行
大正二年九月二十九日發行
大正二年九月三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市北休賀町六番地 宗地 七
和歌山市北休賀町六番地